



中河てのひらサークルのみなさん



第2回目の「どやのメール」は実際に活動をされている方の声をお届けします。点訳のボランティアをされている渡辺光枝さんにお聞きしました。

Q1：渡辺さんはどんな活動をされていらっしゃるのですか。

A1：中河てのひらサークルで点訳ボランティアをしています。場所は中河公民館、活動回数は月二回、主な活動は「広報さばえ」と「お知らせ」版を点訳し、市内の必要とされている方に郵送しています。その他鯖江市で行われている福祉大会や社会福祉協議会で行われているボランティア祭りにも、時間の許す限り参加しています。

Q2：その活動を始めたきっかけは何だったのですか。

A2：初めはただ軽い気持ちで「やってみようかな」でした。いつまで続けられるかなと思ってやってきましたが、それが今では十数年も続いています。

Q3：活動をされていてうれしかったことや、大変だったことを教えてください。

A3：うれしいことは今日まで続いていること、楽しい仲間がいること、いろんな方と知り合えること、ボランティアをしているという自己満足を味わえることです。大変なことは、点訳の漢字や文法が難しくなかな理解できないこと、いまだに指導者がいないと間違いばかりなことです。

Q4：これから何が活動を始めようと思っていらっしゃる方、迷っていらっしゃる方にメッセージをお願いします。

A4：まずは参加して、「いいな」と思ったら続けることかな。続けることはとても難しいですが、無理をしないで自分の生活の一部にすることが大切です。第一に家族の理解を得ること、あとは自分の意思と仲間の思いやり次第だと思います。

市民活動の始め方って？

■7月にこの「どやのメール」を回覧させていただきましたが、早速「市民活動を始めるにはどうするの?」「NPOってなに?」とのお声がありました。それにお答えしますと…

「市民活動」という言葉は、なんだか硬くてとっつきにくいようです。でも、まずは皆さんのお住まいの地域での活動に参加するだけでもよいのです。それにプラスして、皆さんが話し合いなどを通じて、趣味や特技を生かしたり、交流しながら継続して何かをやる、その結果が地域のためになる、それが立派な市民活動です。

最近では広い分野で活発に活動がなされ、いろんな交流、イベントが行われています。その情報は私たち「鯖江市民活動交流センター」やふくい県民活動センター（県民会館内）で入手できます。お気軽にお問い合わせください。



「NPO」という言葉もよく耳にしますが、NPOとは、営利を目的としないボランティアや市民活動団体のことです。その活動分野は、社会教育、まちづくり、芸術・スポーツの振興、災害救援、男女共同参画、子どもの健全育成など、多岐にわたっています。

あなたの興味のある分野はどれですか? 難しく考えず、まずはできることや興味のあるものに取り組んでみてはいかがでしょうか。

編集・お問い合わせ

鯖江市民活動交流センター（さばえNPOセンター）

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20

TEL: 0778-54-7055 FAX: 0778-54-7058

E mail: info@sabae-npo.org

